

一九五七年十一月二十五日  
印刷  
発行



第40巻 第6号

史学・地理学・考古学

### 特集 文化交流

- 支那の鉄について ..... 宮崎市定 (1)
- 六朝隋唐時代の報応信仰 ..... 山崎宏 (15)
- ヒマラヤ及びチベットにおける文化接触 ..... 川喜田二郎 (36)
- ルネサンス精神の動揺 ..... 永井三明 (60)  
——二つの文化圏と世界観の苦闘——
- 洋学史に関する一考察 ..... 大月明 (90)  
——渡辺崋山を中心として——
- 明治後期における実業教育の展開 ..... 時野谷勝 (113)
- 
- 友愛会の発展過程 ..... 松尾尊彦 (134)  
——第一次大戦下における内的転換と成長——

#### 書評と紹介

- 唐長孺：魏晋南北朝史論叢 ..... 狩野直禎 (162)
- ハーツホーン；地理学方法論——地理学の性質—— ..... 山澄元 (167)

学会消息・大会予告・例会予告

## 史学研究会

京都大学文学部内

京都大学文学部  
東洋史研究會  
〒606 京都府京都市西京区  
三本松三三二八番

案には、兼て御話申候通、御勝手は第二番めに心得罷在候。……尤どれよりなりとも極意は同じ事なれども、愚案は遅緩なる方、又無為の方、……今世の大名は、大名の力無之の処、君侯は其名に泥み、家来は其害に苦み、上より下を察せず、下より上を察することなく、……然る上は時勢には、一向手を付不申方可然、何れにも貧乏にてツブレたる大名決して無之、……其上子を思はぬ親はなく、君を思はぬ臣はなかるべし、教化次第にて、人心其本に反り可申候。骨折は右にあるべし」と。

⑧〇 「麴町一件日録」所収書簡 一卷

⑧① 「獄中より江川太郎左衛門に寄せし密書」一卷

⑧② 一卷、佐藤氏発見の「外国事情書」もあるが、今は全集本による。

⑧③ 一卷

⑧④ 一卷、「崋山の口書」(一卷)に、「私儀主人領分三州田原、遠州洋中へ出張候場所にて、私儀海岸掛相心得罷在候に付海防手当は勿論、蛮国の事情に通じ、主人之輔翼に相成度心底」から天保三年頃より、長英・三英・幡崎鼎より追々聞いていたものを考訂、また蘭人の話等を載せ、付録として湊長安その他から聞いたニーマンの話を加えたもの。この「缺舌或問」の内容が、崋山が本格的に洋学研究を始めてからの蓄積だとすると、崋山の本格的な洋学研究が始められたのは天保三年以前、少くとも文政末から天保二年頃までにならう。

⑧⑤ 赤井巖三「春紅秘事」

### 史学研究会 十二月例会

左記より十二月例会を開催いたします。多数御参集下さい。

日 時 十二月七日(土)午後一時～四時

場 所 京都大学楽友会館(市電近衛通下車)

講師演題 歴史家とその時代

服部之總について

司馬光について

未 定

奈良本辰也氏

外山 軍 治氏

田村 満 穂氏

雍正帝の仏学

塚本 俊孝

高麗朝における佃戸

金 洪圭

唐代における奴婢について

中谷 英雄

地理学関係

国際地理学会議

えられる。またわが国の地理学界もこの会議を機会に何等かの刺激をうけたことであろう。なお、東京では現代地図、天理では日本製古地図に関する展覧が催され、内外学者に与えた感銘は著しいものがあつた。

考古学関係

山口県豊浦郡豊北町、土井ヶ浜遺跡の調査

八月一日―十七日。

国際地理学会議リージョナル・カンフェレンス・オヴ・ジャパンは、八月二十九日―三十一日東京学士会館、九月二・三日天理大学の二会場を中心に、その後それぞれ数日にわたる現地討議（エクスカーション）を加えてはば二〇日にわたり挙行された。外国よりは二〇カ国八〇餘名にのぼる参会があり、日本からは二〇〇餘名の参会をみた。東京では東南アジアに関するシンポジウムが行われ、そのほか研究発表は、地形・気候・陸水・土地利用・工業化・産業地域・総合開発・集落・人口等の多方面にわたり、活潑な論議の展開のうち、学問の国際交流に多大の成果をあげた。現地討議の地域としては北海道・東北・東京都・中部・大和盆地・宇治―京都・阪神・瀬戸内・九州の諸地域が取上げられた。

下関市安岡・梶栗浜遺跡の調査

八月十七日―二十五日

本年一月に続く第二次調査

金関恕氏等が弥生式前期の箱式棺二、石甕一を発掘し、石棺内からは碧玉管玉多数が発見された。

研究発表と現地討議を通じ、外国地理学者の日本に対する認識はより深められたものと考

執筆者紹介

- 宮崎市定 京都大学教授
- 山崎 宏 東京教育大学教授
- 川喜田二郎 大阪市立大学助教授
- 永井三明 京都大学助手
- 大月 明 大阪市立大学講師
- 時野谷勝 大阪大学教授
- 松尾尊兌 京都大学助手
- 狩野直禎 京都大学大学院学生
- 山澄 元 京都大学大学院学生

史学研究会大会 予告

左の日程で本会及び読史会・東洋史談話会・西洋史読書会の連  
合大会を開催いたします。おさそい合せの上、多数御参加下さ  
い。

△十一月一日(金)午前八時半〜午後五時

見学 京都の庭園観賞

修学院離宮・三千院・大徳寺・東本願寺枳敷邸

(申込者多数につき、締切りました。当日御申込は御遠慮  
下さい)

△十一月二日(土)午後一時より

史学研究会大会及び総会

京都大学法経第五教室

(講演) 立山信仰に関する史的考察

ギリシヤ文化の生成

高瀬重雄氏  
村田数之亮氏

△十一月三日(祝)午前九時より

読史会・東洋史談話会・西洋史読書会各大会及び晚餐

会(地理学談話会は本年に限り開催いたしません)

会員各位

史学研究会

各巻の最終号を特集号にあてる企ては、『日清戦争』に試みられて以  
来、『共同体』『思想史』にひきつがれ、その成果を顕著にして来た  
と考えられる。特集号テーマは、出来るだけ、史学・地理学・考古  
学それぞれが参画しようという見地から選ばれて来た。しかも魅力あ  
るものが望まれました。『文化交渉』も取められた諸論考に支えられ、  
その存在理由を明確にしたと思われる。ただ、考古学より予定した角  
用文衛氏の御寄稿が事情でおくれ、ふりかえに次号予定の松尾氏をわ  
ずらわせるに至った。なお、本誌は年間六〇〇頁を建前として来た。  
しかもそれは文部省の刊行助成金に一部依存することによってであっ  
た。しかるに本年よりは不幸にも助成を打切られた。当会としては、  
従来六〇〇頁六〇〇円の建前をくすさない様、せい一杯の努力を傾  
け、ここに六〇〇頁を超える特集号をお送りするのであるが、しかし  
若干の出費超過も予想されるのである。それ故、次年度には何らかの  
策を講じさせていただ  
くことになるかも知れ  
ない。要は会費納入・  
新会員獲得を通じて、  
会員諸賢の切なる御協  
力をお願いしたいので  
ある。(末尾至行)

※ 会員には本号を百  
円でお頒ちしました

一九五七年一月二五日印刷  
一九五七年一月一日発行  
定価 二百円

史林 (第四〇巻 第六号)

京都市左京区吉田本町  
京都大学文学部内

発行所 史学研究会

理事 振替京都五一五五番  
編輯主任 富崎市定  
赤松俊秀

印刷所 京都市下京区七条御所ノ内東町三九  
中村印刷株式会社

# THE SHIRIN

or the

## JOURNAL OF HISTORY

---

Vol. XL NO. 6

Nov., 1957

---

### CONTENTS

#### Studies on the Cultural Intercourse

- The Iron Manufacturing in China..... *I. Miyazaki* ( 1 )
- Karma Creed in the Liu chao (六朝) Era and Sui  
T'ang (隋唐) Dynasties ..... *H. Yamazaki* ( 15 )
- Cultural Contacts in the Himarayas and Tibet  
..... *J. Kawakita* ( 36 )
- Disquietude of the Spirit of Renaissance  
—Struggle between two cultural Spheres  
and outlooks on the world—  
..... *M. Nagai* ( 60 )
- A Study on the History of Western Learning (洋学)  
—chiefly about the case of *Kazan Watanabe* (渡辺崋山)—  
..... *A. Ôtsuki* ( 90 )
- Development of the Vocational Education in the Later  
Meiji Period.....*M. Tokinoya* (113)
- 
- The growth and reconstruction of the *Yûaikai*.....*T. Matsuo* (134)

#### Book Reviews & News

---

*Published*

*by*

THE SHIGAKU KENKYUKAI

*(The Society of Historical Research)*

Kyoto University, Kyoto, Japan